

# 備

【5年】  
 備 (び)   
 そなえる・そなわる

12画  
 一 伊 伊 伊 備 備



【なりたち】人がよろい(よろい)に身を固めて、敵に「そなえる」ことを表した字。「そなえる」こと。前もって「用意」しておくこと。また、「そなえ・そなわる」。

【いみじゆく】  
 ▼前もって用意する。そなえる。  
 準備：前もって用意しておくこと。【例】準備体操  
 設備：ある目的に必要なものを備えつけたこと。また、その備えつけたもの。  
 備忘：忘れた時のために用意すること。【例】備忘録

▼そなわる。そろっている。完備：完全にととのい、備わっていること。【例】不備  
 具備：必要なものが十分に備わっていること。  
 兼備：かねそなえていること。【例】才色兼備(才能も容色も両方そなわっていること)。

▼そなえ。  
 軍備：防衛や戦争のための軍隊のそなえ。  
 【よみかた】 備考・備蓄・備品・警備・守備・常備・防備

# 保

【5年】  
 保 (ほ)   
 たもつ

9画  
 一 一 一 一 保 保



【なりたち】子どもを両手で支える形の呆(ぼ)と人との会意字。人が子どもを大事に「まもり育てる」ことを表した字。「まもりとおす」こと。「長くまもり続ける(たもつ)」こと。

【いみじゆく】  
 ▼養(やしな)育(やしな)てる。まもり育(やしな)てる。  
 保育：子供を保護し、養育すること。【例】保育園

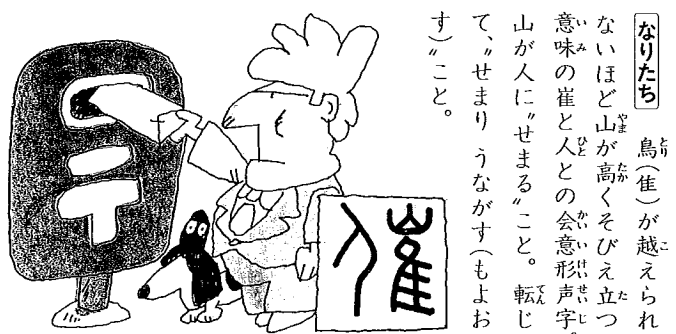
▼たもつ。大切に持ち続ける。保存：そのままの状態でも、いつまでも大切に残しておくこと。  
 保守：①古くからの伝統・習慣を大切に守り続けること。【例】保守的 ②正常な状態をたもつようにすること。【例】機械の保守点検を行う。うけあう。責任を持つ。

▼せまること。  
 保証：あることについて前もって間違いないと受けあうこと。【例】身元保証  
 【よみかた】 保険・保持・担保

# 催

【5年】  
 催 (さい)   
 もよおす

13画  
 一 一 一 一 催 催



【なりたち】鳥(とり)雀(すずめ)が越(こ)えられないほど山(やま)が高くそびえ立つ意味の催(さい)と人との会意形声字。山(やま)が人に「せまる」こと。転じて、「せまりうながす(もよおす)」こと。

【いみじゆく】  
 ▼せまること。  
 催促：せまりうながすこと。せきたてること。  
 ▼うながす(もよおす)こと。  
 催眠：眠りをうながすこと。眠くさせること。また、眼

気(き)をもよおすこと。(「もよおす」には、うながす意味や「自然にそっくりいう状態になる」意味や、そうなるように「計画する」などの意味がある。) 催涙：毒ガスなどで目を刺激して涙をひどく出させ、見えない状態にさせること。  
 ▼もよおす(計画する)。  
 開催：会を計画し開くこと。主催：中心になって催し物を行うこと。また、その主体。共催：共同して開催すること。催し物：大ぜいの人にものを見せたり、品物を売ったりする集まり。

# 促

【5年】  
 促 (そく)   
 うながす

9画  
 一 一 一 一 促 促



【なりたち】捉(つかま)えるの意味の足(あし)と人との会意形声字。人をつかまえようと「せまる」ことを表した字。催(さい)と同義で、転じて、「うながす」こと。

【いみじゆく】  
 ▼せまること。  
 促音：「りっぱ」の「っ」のように小さく「っ」と書く、せまった感じを与える音声のこと。

▼うながすこと。  
 促進：関係者を促して、物事が速く進行するようにすること。促し進めること。  
 督促：「督」もうながす意味。催促と同じ。官庁や上司からの催促に使うことが多い。

# 催